



貸事務室利用者懇談会を開催しました

1月20日(日)、冬だというのにまるで春のような暖かい日差しが差し込む名取市市民活動支援センター(以下、なとセン)大会議室で、貸事務室利用者懇談会が開催されました。

指定管理2年目、運営するだけで精一杯だった1年目から、やっと利用者の皆さんからご意見・ご提案を聞く機会を作ることができました。



貸事務室利用者懇談会の様子

活動の拠点は“なとセン”

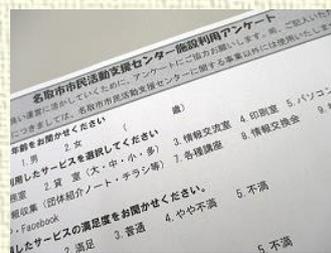
日頃から、なとセンをもっと身近に感じ、利用していただいている10団体が集い、まずは、自己紹介。(一社)ボディジャンプの西間木さんの「他の事務所の灯りにみんなも頑張ってるなーと、刺激をもらっています」とのお話からは、団体運営の大変さが伝わってきました。(特非)アンソレイユの澤田さんは、名取での事業展望について、(特非)仙台傾聴の会の森山さんは、表彰を受け活動の成果を多くの人に知ってもらうことが励みになると話してくださいました。国際交流協会ともだち in 名取の佐々木さんと(特非)イー・エルダー東北支部の昆布谷さんは、なとセン利用のメリット、デメリットを具体的に紹介してくれました。閑上復興だよりの格井さん、防災教育の市民団体「ゆりあげ

かもめ」の佐竹さんは、活動への思いや課題を分かりやすく語ってくれました。(一社)プレーワーカーズの須永さんや(一社)ライトハウスの佐藤さんからは、思いもよらなかった入居による効果や居心地についての感想を伺うことができました。(特非)パートナーシップなとりの洞口さんからは「皆さんの活動に、どう応えていくかを考えながら頑張っている」とのお話がありました。

サービス向上を目指して

施設利用の貸出し手続きや利用日、情報発信機能などについてご意見、ご提案をいただきました。利用者だから分かる事、生の意見を聞くだけでなく、様々な視点から活発に議論していただく場となりました。

2月には、施設利用に関してもアンケートという形でご意見を聞いています。また、情報交流室には、ご提案箱も設置してあります。頂いた様々な意見を参考に、利用者の皆さんのお力をお借りしながら、より良いセンター運営とサービス向上に向けて取り組んでいきます。



市民活動の活性化を目指して

■ 名取市協働提案事業〈共催〉

≪名取市市民活動行動指針策定≫

名取市においては、100を超える市民団体が名取市市民活動支援センターに登録しています。この他にも多くの団体が活発な活動を行っています。これらの団体は自主・自立・独立という「市民活動」理念のもと、少子高齢化、医療費の増大などの課題の解決に取り組んでいます。このような社会課題を解決するため市民活動の一層の活発化が求められています。しかし、市民活動の知名度は低く、実際に市民が市民活動に参加しているかと言えば十分であるとは言い難い現状です。市民が積極的に自らの生活の向上を目指し市民活動に関わり、様々な方々と協力し、地域課題を検討し解決に向かうことが必要です。

そこで、NPO法人パートナーシップなとりは、市民参加で「市民活動行動指針」を策定する案を、名取市の協働提案事業に応募しました。そして、名取市との共催事業として採択されました。名取市内で活動する市民活動団体の代表など20名で構成された名取市市民活動行動指針策定委員会を立ち上げ、策定活動を行っています。毎月ワークショップ形式で策定に取り組み、2018年度内の完成を目指しています。



グループワークショップの様子



グラフィックファシリテーション WS

■ 内閣府・金融庁の取り組み

≪休眠預金等活用法とは？≫

銀行などの金融機関に預けて10年以上、入金や出金などの取引がされていないお金のことで、金融庁の資料によると、預金者が名乗りを上げない休眠預金は払い戻し金額を引いても毎年約700億円になります。この休眠預金等を民間の公益活動を行う団体に対する、助成・貸し付け・出資などに利用すると決めた法律が、2018年1月から施行された『休眠預金等活用法』です。

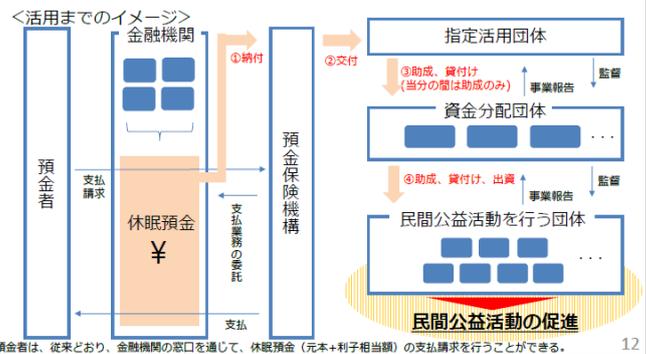
休眠預金となったお金は、預金保険機構に移管されその後、首相が指定する指定活用団体に厳正に管理されます。地域の公益活動事情に詳しい資金分配団体を経て、地域活性化に取り組む民間公益活動団体へ助成・融資・出資されます。

内閣府は、平成31年1月11日に助成先を決める指定活用団体に、平成30年7月に設立された一般財団法人「日本民間公益活動連携機構」を選びました。平成31年秋には全国に配置する「資金分配団体」を通して、NPO法人などの活動内容を審査し助成先を決める事になります。

『休眠預金等活用法』は施行から5年後(2023年1月1日)には幅広く制度を見直す予定です。

休眠預金等活用の流れ

- ① 金融機関は、休眠預金等を預金保険機構に納付する。
- ② 預金保険機構は、事業計画の実施に必要な金額を指定活用団体に交付する。
- ③ 指定活用団体は、民間公益活動促進業務の実施について責任を負い、事業計画等に基づいて資金分配団体を公募により選定し、助成又は貸付け(当分の間は助成のみ)を行う。
- ④ 資金分配団体は、民間公益活動を行う団体を公募により選定し、助成等を行う。



※預金者は、従来どおり、金融機関の窓口を通じて、休眠預金(元本+利息相当額)の支払請求を行うことができる。

内閣府・金融庁説明資料より

https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html

なとセン登録団体紹介

名取こどもミュージカル実行委員会

名取の子どもたちに、

本物の舞台を体験させてあげたい！

大舞台でスポットライトを浴び、1000人の観客の前で魅せる非日常の体験を、名取の子ども達に、名取で体験して欲しい。歌やお芝居が好きな子が輝ける場所をつくってあげられたら！そんな思いで立ち上がった、名取こどもミュージカルの実行委員長を務める赤沼貴子さんは、自身も10年前の市民ミュージカルに参加して、ミュージカルにハマった一人です。

発足からの10年間、子ども達を見守ってきている赤沼さんは、子ども達の伸びる力にいつも驚かされるそうです。ミュージカルは、歌も踊りも芝居もと沢山の要素があり、練習はとても大変です。最初は恥ずかしくて自分の名前も言えなかったような子ども達が、台本を読み込み、役の気持ちを想像し、仲間と意見をぶつけ合い、最後は仲間を信じ、自分を信じて観客の前に立つ。

そして子ども達はステージで最高の自分を表現する。少しずつ上達していく過程や、みんなでひとつのものを創り上げていくこと、同じ目標に向かって努力すること、スポットライトを浴びて拍手喝采を受けることは、普通に生活している中ではできない体験なので、この貴重な体験をたくさん子ども達と一緒にして欲しいと赤沼さんは言います。

舞台づくりの学びのお手伝いもしています

尚絅学院大学表現文化学科の先生から、学生たちに実際の舞台を創る活動を体験させたいとの話を頂き、実践を通じて舞台のプロデュースについて学ぶ協働にも取り組んでいます。

生の舞台の緊張感は、どんなに練習しても、本番でないと体験できないもの。舞台監督補助、照明、音響、映像、会場演出、アナウンス、広報という「裏方」を全て学生にお任せし、ステージに上がる子ども

たちは、「裏方」のサポートの下で多くの学びを得ています。



今年も市民ミュージカル♪

子どもと一緒に大人も魅せます！！

今年も、記念すべき第10回目の公演を、一般公募による市民キャストと共に、名取市市制施行60周年記念事業としてお届けします。

今回の演目「big the musical」は、小さな少年におきた大きな奇跡の物語です。いよいよ間近に迫った本番に向けて、大人も子どもも一生懸命練習し、輝く舞台を創っています。

3月23日（土）24日（日）は名取市文化会館へぜひお越しいただき、ワクワクドキドキの世界と一緒に体験してみてください。



名取こどもミュージカル実行委員会

実行委員長 赤沼 貴子

☎080-5562-2626

✉aknon723@gmail.com

なとセン information

市民活動支援センターを拠点に活動しませんか

名取市市民活動支援センターでは、貸事務室およびロッカーの利用を希望する団体を募集します。募集期間は3月6日（水）～20日（水）です。

※詳しくは、市民活動支援センターまでお問い合わせください。

【貸事務室】

- 事務用机（各1台）、事務用いす（各1脚）
冷暖房完備。使用料に光熱費込み。
- 貸事務室 3・4・B・C・D 全5室
面積 10㎡～15㎡
使用料 800円/㎡ 月額
- 貸事務室 G-2 プース 面積 約3㎡
使用料 2,400円/月
- 使用期間 平成31年5月1日～
平成32年4月30日
- 利用時間 月曜～土曜 9:30～21:30
（火曜日を除く）
日曜・祝日 9:30～17:30

【ロッカー】

- 大きさ 幅90cm、高91.5cm、奥45cm
使用料 500円/月
- 使用期間 平成31年5月1日～
平成32年4月30日
- 募集数 8台
- 応募資格要件
① 市内で1年以上継続的に市民公益活動を行う見込みのある団体
② 専用の事務所を持たない団体
※ロッカーは①のみ
- 問合せ 名取市市民活動支援センター
TEL:022-382-0829

専門相談会 相談者募集中

- 開催日 3月28日（木）・4月25日（木）
- 時間 13:30～、14:45～、16:00～
- 定員 3団体（個人でも可）
- 相談料 無料
- 会場 名取市市民活動支援センター
TEL:022-382-0829

参加者募集

一般社団法人プレーワーカーズ 緊急シンポジウム「外遊びの未来」

- 日時:3月23日（土）13:30～16:30
- 場所:尚絅学院大学
- 内容:基調講演「被災地支援活動報告」
パネルディスカッション
大久保ちから（名取市市議会議員）
佐藤一夫（福島県生協連専務理事）
天野秀昭（日本初代プレーリーダー）
- 対象:子どもに関心のある方全員
- 定員:100名
- 参加費:1,000円（資料代）
- 問合せ:090-6459-5225（廣川）

参加者募集

一般社団法人ボディジャンプ のびのび親子体操教室・親子リズム走り方教室

- 開催日:3月17日（日）
- ◆時間:10:00～11:00
「のびのび親子体操教室」
- ◆時間:11:00～12:00
「親子リズム走り方教室」
- 場所:名取市文化会館／演劇練習室
- 定員:各回先着20組
- 参加費:親子1組/各回 1,000円
4歳以上1人追加100円
- 申込:lesson@body-jump.com
- 問合せ:090-1377-5194（西間木）

発行日:平成31年3月1日
発行:名取市市民活動支援センター
発行部数:1,000部
編集:特定非営利活動法人 パートナーシップなとり
問合せ先:〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1
TEL:022-382-0829 FAX:022-382-0841
E-mail:npo@natori-npocenter.or.jp
HP:http://www.natori-npocenter.or.jp
Blog:http://blog.canpan.info/natori

